
災害廃棄物の対応状況について

令和4年8月

環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室



令和4年8月3日からの大雨等に係る環境省の対応（8月24日現在）

気象状況（8月16日気象庁発表）

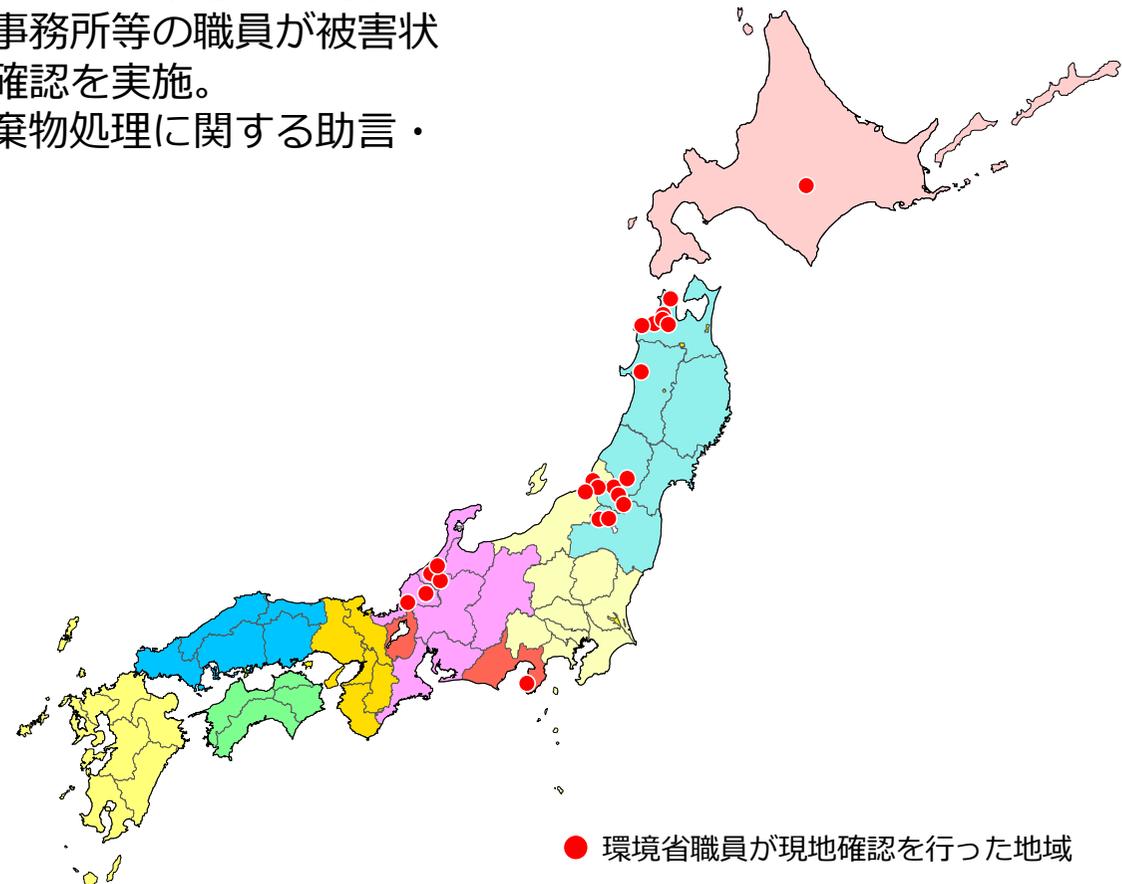
北日本から西日本では8月3日から5日にかけて、東北地方と北陸地方を中心に断続的に猛烈な雨が降り、記録的な大雨となった。また、8日には再び前線が北日本にのびて停滞し、13日にかけて北海道地方や東北北部で大雨となり、北海道地方や青森県では記録的な大雨となった。

環境省の対応状況

- ◆ 北海道地方環境事務所、東北地方環境事務所、関東地方環境事務所、中部地方環境事務所、近畿地方環境事務所等の職員が被害状況及び災害廃棄物発生状況について現地確認を実施。
- ◆ 必要に応じて被災自治体に円滑な災害廃棄物処理に関する助言・指導を実施
- ◆ 派遣人数：のべ61人・日（8/4～8/24）



鱒ヶ沢町役場にて今後の方針を打ち合わせする環境省職員（8/16）



各被災地の災害廃棄物処理の様子（8月24日現在）

- ◆床上浸水の棟数が多いなど特に被害の大きかった地域では仮置場又は集積所を 設置して災害廃棄物の集積・管理を実施中
 - ◆床上浸水に至らなかった地域のほとんどは、通常収集の範囲で対応中
- ※下記で記載の地域以外にも被害の発生している道県があることに留意

青森県鱒ヶ沢町



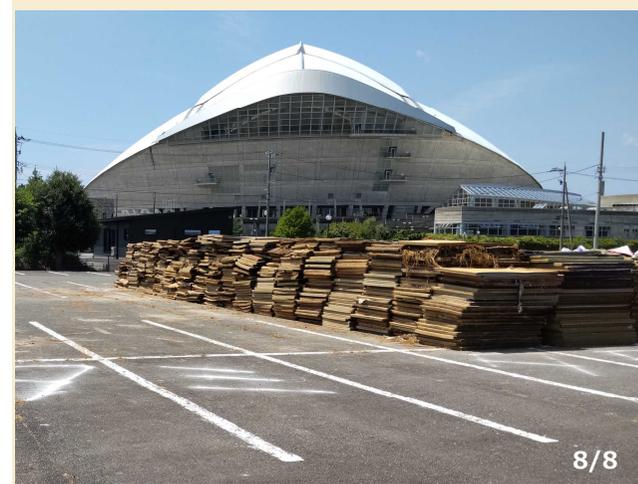
鱒ヶ沢町では住宅約445棟に浸水被害が発生。環境省職員の派遣体制が組みられたほか、**人材バンク制度**を活用して神奈川県横浜市職員1名が現地入りし、災害廃棄物処理に関する助言を行った。

新潟県村上市



村上市では床上浸水575棟、床下浸水797棟の被害が発生。一連の水害で最大規模の被災棟数となった。仮置場で火災が発生するなどもあったが、県内他市の協力もあり処理が順調に進む。

石川県小松市



小松市では床上浸水279棟、床下浸水988棟の被害が発生。県内他市の協力もあり処理が順調に進んでいる。**人材バンク制度**を活用して8月24日～26日に長野県佐久市職員1名が現地入りし、災害廃棄物処理に関する助言を行っている。